

報 告 書

開 催 日 時	令和 7 年 10 月 6 日 19 時 00 分 ～ 20 時 30 分		
自治協議会名	久米住民自治協議会	開 催 場 所	久米地区市民センター
出席議員	西田 方計、百上 真奈、浅川 友和、寺村 京子		
	班 長	西田 方計	記録・報告者 浅川 友和
参加人数	13 名		

【主な意見・提言等】

①都市計画道路『南平野木興線』の状況について

- ・本道路は、昭和 30 年代に計画された道路で、現在も未整備の区間（上野恵美須町から木興町国道 422 号）をめぐっての方向性が出されないままになっている。
- ・道路が狭く大型車や緊急車両が通行しづらい箇所があるなど、課題もあったことから、防災・救急の観点からの課題が指摘されている。
- ・期成同盟を上野南部地域とともに設置しているが、久米町としてはさほど必要性が強いわけではない。計画がはっきりしていないので、土地建物の利用が不明確な部分が出ている。住民からは「計画道路の位置が分かりにくい」「今の街並みに合っていない」「必要なところから整備してほしい」との声が寄せられている。
- ・伊賀市では、令和 8 ～ 9 年度に、都市計画道路全体の見直しを実施する予定で、その中で本線の扱いも必要性の有無から検討される見込みであり、地域の皆さんからの意見を聞きながら検討する予定。
- ・変更や整備を進めるためには、行政だけでなく地域住民の理解と合意形成が欠かせない。

②その他（各自治会等より）

- ・終末処理施設について施設の老朽化が進み、修繕費が高額化している。現在は自治会が管理会社に委託して運営しているが、今後の維持が困難になる可能性があり、市との協議が必要。コウモリ被害や土砂災害の危険性がある。
- ・シカ被害が広がっている。
- ・368 号線の四車線化に関して、インターチェンジのことが心配事項である。
- ・倒木・里山の安全対策については、過去に市・県の補助を受けて倒木処理を実施。先日、倒木により停電になった。現在も一部危険木が残っている。空き家周辺や所有者不明地の木の扱いが課題。
- ・自治会運営の現状と課題として役員の成りて不足が続き、高齢化も進んでいる。
- ・若い世代や共働き世帯の参加が難しい状況があり、負担軽減の仕組みが必要。

・外国人住民との共生という点では、ベトナムなどからの住民増への対応も必要。自治会活動に参加する方もいるが、情報が十分に伝わっていないケースもある。

伊賀市議会議長 様

令和7年10月17日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和7年度 地域意見交換会 6 班

班長 西田 方計